

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	0406	先人顕彰推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
花巻ゆかりの先人紹介

《事業開始の背景》
市内文化施設の利用促進を図るため、各施設特別展の開催期間を合わせた共同企画展を開催する。

《事業概要》
○共同企画展
平成25年12月1日～平成26年1月31日 開催館8館

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
① 共同企画展入場者数	人	目標			
		実績	12,095	12,690	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
人づくり	生涯学習部	生涯学習交流課	小原美知子	418

		25年度	当初(現計)	補正	年度	年度
事業費		5,260				
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	5,260				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

共同企画展 5,260,368円
 [内容]: 市内先人顕彰施設関係館による、花巻ゆかりの先人について同時期に企画展を行う。
 [開催期間]: 平成25年12月1日～平成26年1月31日

施設名	企画展内容
宮沢賢治記念館	賢治の叔父・宮沢磯吉
宮沢賢治イーハトーブ館	
花巻新渡戸記念館	新渡戸家の歴史「松岡円平展」
博物館	佐藤隆房展-醫は心に存する-
萬鉄五郎記念美術館	わが内なる自画像 萬鉄五郎七変化
東和ふるさと歴史資料館	成島和紙の再興に尽力した菅木友次郎
石鳥谷歴史民俗資料館	わが国醗酵工学の先駆者 照井堯造
総合文化財センター	たばこ畑づくりに生きたヒト・ムラ

- ・報償費 70,000円 (講師謝礼)
- ・旅費 86,800円 (作品借用旅費)
- ・需用費 3,046,744円 (消耗品、ポスター、チラシ印刷等)
- ・役務費 229,496円 (ポスター、チラシ送付郵送料等)
- ・委託料 1,727,328円 (ケース移動、パネル製作等委託)
- ・使用料及び賃借料 100,000円 (作品借用料)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	0406	先人顕彰推進事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	創造性豊かな芸術文化の振興
	4		4-4	
目的	花巻ゆかりの先人紹介			
対象	市民、観光客			
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。 観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○共同企画展
平成25年12月1日～平成26年1月31日 開催館8館

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定
 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 共同企画展の開催館数	館	計画	13	8	6
		実績	15	8	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 共同企画展入場者数	人	目標			
		実績	12,095	12,690	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？
市ゆかりの先人の功績をあらためて確認できたという意見や、知られていない先人に対して新たな発見があったという意見があった。もっといろいろな先人を顕彰してほしいという要望もあった。暖かい時期での開催要望があった。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市内各施設の企画展の開催時期を合わせることで、来館者へのサービスを図るもので公共関与は妥当である
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	次代を担う子供たちが、郷土の先人への理解を深められるよう働きかける 開催時期や企画展の内容について開催館で連携し、より多くの来館者が訪問しやすいよう計画する
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	最低限のコストで対応できるよう考慮し、職員の直営で行えるものは対応している。これ以上の削減は企画内容の低下を招くことが予想される 簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門的知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である

《総合評価》…上記評価結果の総括
知られていない郷土の先人は多く、もっと先人の功績や人となりについて知りたいという意見が多かった。ホームページ等を通じて花巻の先人を紹介しているが、先人が残した功績を広く市民に周知し、その継承に務めるためには、市民が日常の中で理解を深められるような場を提供することが必要とされる。